

# 米原創生

10月29日、「まち・ひと・しごと米原創生総合戦略」を策定しました。  
市では、この「まち・ひと・しごと米原創生総合戦略」を人口減少に立ち向かう、  
まちの未来への羅針盤として位置づけ、今後事業を進めていきます。

問 政策推進部 みらい創生課(米原庁舎) ☎52-6784 FAX52-5195



## 39882人

これは、12月1日現在の米原市の人口です。

合併時に42000人を超えていた人口も、この10年の間に2500人近くも減少し、今では40000人を割り込んでしまっています。

人口が減少する現実をただ受け入れるのではなく、米原市ならではの暮らしの豊かさをさらに高め、持続するまちとしての未来を創生していくこと

が、今強く求められています。

そこで、市では「米原市人口ビジョン」を策定し、2040年には37000人、2060年に34000人の人口を維持するという目標を掲げました。

特に、20代から30代を中心とした若年世帯の流出抑制と転入促進を実現することで、生産年齢人口約20000人を維持することが重要であると考えています。

**MAIBARA CITY SALES**



人口ビジョンを達成するために、今後5年間の取組の方向性を示した戦略が「まち・ひと・しごと米原創生総合戦略」です。総合戦略では、

「暮らしに重点を置いた施策」を検討し、4つの基本目標を設定しました。

この戦略に基づく企業と連携した取組がすでに始まっています。4つの基本目標とあわせてご紹介します。

## 基本目標1 女性や若者が活躍するまちを創る

女性等のチャレンジ応援と産官学金労言の協働による地域イノベーションにより、「女性や若者が活躍するまち」を創造します。

※産…産業界、官…地方公共団体や国の関係機関  
学…大学等の高等教育機関、金…金融機関  
労…労働団体、言…メディア

### 主な施策

- (仮称)新・まいばら協働事業提案制度
- 女性・若者向け起業支援
- 農業6次産業化
- 集落営農の担い手育成
- スポーツ・サイエンス領域の取組
- 観光産業イノベーション

### JR西日本と地域産品の情報発信や販売に関する連携協定

この連携は、JR西日本などが開設する海外向けの通販サイト「JAPANSQUARE」(ジャパンスクエア)上で、米原市の特産品などを販売するサイト「orite(オリテ)米原」を紹介するというものです。

今回の連携で、米原市の特産品を世界に発信するとともに、観光などへの波及効果も期待されます。



## 基本目標2 若年世帯が移り住むまちを創る

交通利便性の高さと暮らしに彩りを与える地域の魅力を発信し、若年世帯の移住・定住の促進につながる新しい人の流れを創出します。

### 主な施策

- UIターン支援
- 女性を意識した生活基盤整備
- 若年世帯への米原暮らし提案
- 規制緩和・柔軟な制度運用
- 専門職・有資格などキャリアの支援
- 外部目線の米原プロモーション

### 外国人による米原プロモーションの実施

「外国人による米原市の新しい発見」をテーマに、日本のテレビなどで活躍する外国人の男女2人が市内取材し、日本人、市民、近隣住民とは異なった視点や感覚で米原市を探索。

その外国人の視点から、米原市の新たな魅力を再発見し、ウェブサイトやSNS等で発信します。



## 基本目標3 滋賀県一子育てしやすいまちを創る

若年世帯の女性に評価される、ココチよい暮らしと健康、子育て、教育、文化の質の向上を図り、将来子どもを生み育てたいと望む若年世帯にも選ばれる、滋賀県一子育てしやすいまちを創造します。

### 主な施策

- 多様な働き方・働く機会創出
- 若年世帯の出産・子育ての支援策
- 若年世帯の貧困解消・経済的安定
- 女性の活躍見える化プロジェクト
- 子どもの教育に関する施策
- 多世代共住・近住等の促進施策

### 子どもの健康増進プログラム

株式会社NTTドコモ、スポーツクラブを全国で展開する株式会社ルネサンスと連携し、ICTを活用して子どもの健康増進プログラムの実証を行います。

企業と連携して「遊び」を軸にした独自の運動プログラムを小学校で展開し、子どもたちの日常の活動状況を、腕時計型の端末を使って計測します。そのデータを分析して、効果的な運動プログラムの検証・企画を行い、子どもの健康増進につなげます。

ドコモとルネサンスが業務提携した初めての自治体向けの取組です。



### 青山学院大学との包括的連携協定

青山学院大学が最も力を入れる英語教育のノウハウを生かし、夏休みなどに教員や学生を米原市内の学校に派遣して授業を行うほか、小中学生の学習支援や市民向けの公開講座の実施などを予定しています。また、インターンシップの学生の受け入れや、米原駅東口周辺まちづくり構想への参画、スポーツマネジメントを実践的に学べる場や機能誘致の研究など、さまざまな面で連携を進めていきます。



## 基本目標4 駅を核として、地域と地域を結ぶステキなまちを創る

米原駅周辺に都市機能を集積し、まちの核をつくるとともに、時代に合った地域の拠点づくりを進め、「コンパクト＆ネットワーク」を形成することにより、市民の暮らしと持続する地域の将来を創造します。

### 主な施策

- 米原駅周辺の都市機能強化
- 「小さな拠点」の形成
- 景観維持に必要な空家利活用策
- JR駅徒歩圏における鉄道沿線まちづくり
- 新しい交通ネットワークの形成
- 公共施設・既存ストックの維持管理

### 米原駅東口周辺まちづくり構想

これは、米原駅東口周辺の市有地と県有地の開発を民間主導で進めるもので、隈研吾建築都市設計事務所や、ダイシン百貨店の前CEO西山敷氏、さらに市と包括連携協定を結んだ大東建託株式会社など、複数企業がプロジェクトへの参加を表明しました。

古くから街道のまちとして、ひと・もの・文化が行き交い、東西文化が融合した米原市ならではの地域特性を生かし、通りを中心とした街並み整備や、市民が集える生活の拠点、さらには住む人や訪れる人のための「暮らしに関わる機能」の集積を目指します。



出典：米原駅東口周辺まちづくりプロジェクト  
隈研吾建築都市設計事務所/NCA研究所株式会社

## まち・ひと・しごと米原創生総合戦略

この「まち・ひと・しごと米原創生総合戦略」は、「女性・若者」、「米原駅を中核とした地域と地域を結ぶまちづくり」、「人づくり」がポイントです。

地域づくり、まちづくりの基礎は人づくりです。その根幹をなすものは、女性・若者の活躍や、若年世帯の住まい・子育て環境、また、子どもの教育であり、たくましくしなやかな育成環境の整備であると考えています。

また、まちの核をしっかりと形成し、市民のみなさんが安心して生活できるよう、滋賀の玄関口・米原駅を中心とした「鉄道沿線まちづくり」と「コンパクト&ネットワーク」を推進していく必要があります。

米原市の地方創生の取組は、まだまだスタートを切ったばかりです。この地方創生は、行政だけでは決して成し遂げることはできません。

市民のみなさんや、企業等と連携することにより、地域に活力を呼び戻すことも大きなテーマです。全国に、そして100年後の未来の米原市民に誇りを持って示せるよう、この米原創生の歩みを着実なものにしていきます。



**MAIBARA CITY SALES**

